

## 鳥取県福祉保健部及び子育て・人財局指定管理施設運営評価委員会報告書

鳥取県福祉保健部及び子育て・人財局指定管理施設運営評価委員会（以下、「評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立鳥取砂丘こどもの国の管理運営状況を評価した。

### 1 対象施設

鳥取県立鳥取砂丘こどもの国

### 2 指定管理者

一般財団法人鳥取県観光事業団（鳥取市相生町4丁目411）

### 3 指定管理期間

平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）

### 4 評価委員会

(1) 開催日 令和4年8月8日（月）

(2) 開催場所 鳥取県立鳥取砂丘こどもの国 そうぞう館及び園内

(3) 評価委員

氏名	所属及び役職名
石塚 康裕（委員長）	一般社団法人麒麟のまち観光局 事務局長
中西 朱実（副委員長）	鳥取県子育て・人財局 局長
吉田 高文	公立大学法人公立鳥取環境大学 教授
小谷 誠	小谷昇税理士事務所 税理士
岡 美智子	認定こども園稲葉幼稚園・稲葉保育園 園長

(4) 評価方法

指定管理者から提出のあった事業実績報告書及び県による点検・評価結果（いずれも平成31年度から令和3年度分）、施設内視察等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、委員5人の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
施設整備の維持管理・緊急時の対応	・施設整備の保守管理・修繕 ・施設の保安警備、清掃等 ・事故の防止措置、緊急時の対応
施設の利用の許可、利用料の徴収等	・利用の許可 ・適正管理に必要な利用者への措置命令 ・利用料金の徴収、減免
その他管理施設の管理に必要な業務	・利用受付・案内 ・附属設備・備品の貸出 ・利用指導・操作
利用者サービス	・開館時間、休館日、利用料金等 ・利用者へのサービス提供・向上策 ・施設の利用促進 ・個人情報保護、情報公開 ・利用者意見の把握・対応
収入支出の状況	・経営状況
職員の配置	・管理運営の組織・職員の職種等 ・日常の職員配置 ・障がい者雇用等

会計事務の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不適正事案や事故等の有無</li> <li>・業務報告書（月次）における内部検査結果</li> <li>・必要な規定類の整備</li> </ul>
関係法令の遵守状況（労働関係法令、鳥取県産業振興条例等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令に係る行政指導の有無等</li> <li>・県内企業への発注等</li> </ul>
県の施策への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者就労施設への発注</li> </ul>

《評価指標》

- 2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。
- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
- 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
- △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済又は改善される見込みである。
- △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による鳥取砂丘こどもの国の管理運営状況の評価は「0」と決定した。

審査項目	評価（委員5人の平均点）
施設整備の維持管理・緊急時の対応	0
施設の利用の許可、利用料の徴収等	0
その他管理施設の管理に必要な業務	0
利用者サービス	0.6
収入支出の状況	0
職員の配置	0
会計事務の状況	0
関係法令の遵守状況	0
県の施策への協力	0.2
総括	0.0888

(注) 総括の評価は0.0888となり、委員協議の上、5段階のうち「0」と決定。

イ 評価委員からの主な意見

【施設整備の維持管理・緊急時の対応に関する意見】

- 特定外来種の駆除等、園内の植生維持に努めていることが認められる。
- コロナ対応が大変な時だと思うが、幼い子どもたちが安心・安全に施設を利用することができるよう、今後も安全・衛生管理の徹底をお願いしたい。

【利用者サービスに関する意見】

- コロナ禍で入場者の推移が見通せない中、SNS活用など努力されている点は評価できる。
- 利用者の意見をしっかり受け止めて運営に反映されている様子がうかがえた。
- GW等で開園時間を30分延長されている。猛暑が続く中、日程を選んで夜の20時頃まで楽しめるよう時間の延長を検討してはどうか（民間の遊園地では既に取り組んでいる）。
- 来年の50周年に向けての集客と、コロナ感染防止という難しい状況の中で、有効な取組を行ってほしい。
- 令和5年5月の50周年はそうそうない機会であり、ぜひこどもの国で盛り上げてほしい。
- 県外者の来園は非常に嬉しいことであるが、県内の子どもたちも全員、何度でも来園するような施設を目指してほしい。

【その他】

- 砂丘関連団体、事業者、プロジェクト等と今後も連携を図ってほしい。